

学年

教科等

単元等

活用アプリ

中3

社会公民

民主政治と政治参加「裁判と人権」

オクリンクプラス

授業
内容

裁判の種類を理解し、裁判で守られている人権について考える

準備：

- ・共有コードを使用してカード（カード①～③）を取得する。
- ・班の数分のみんなのボードを用意する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

1. 裁判には、民事裁判と刑事裁判があることや、それぞれの裁判の仕組みを全体で確認する。
2. カード①を開き、「刑事裁判までの流れ」から「事件の発生」「捜査」「起訴」「裁判」について「何を
するのか」を読み、「誰が」のところに入の名称が書かれた白いパーツを移動する。「捜査」「起訴」「裁判」
で守られる「被疑者・被告人の権利」について入力する（試行錯誤して考えやすくなるための「被疑
者・被告人の権利」を入力し動かすためのパーツを用意しています＊次ページ参照）
3. 各自、カード①を班のみんなのボードに送り、班で意見共有する。
4. いくつかの班の代表が全体で発表する。
5. カード②を各自開き、「裁判官」「検察官」「弁護士」の裁判での役割を入力し、該当する裁判の種
類に○のパーツで囲む。全体で、それぞれの役割と該当する裁判の種類を確認する。
6. 各自、カード①の被疑者や被告人の権利を見直し、「被疑者・被告人の権利」として考えたことがな
かった場合を想像する。カード③に、被疑者や被告人の一番大事だと思う権利と、その理由を入力
する。今後、事件や裁判のニュースを見るときに、どんな点に注目して見てみたいかを入力する。カード
①～③をつなげて提出BOXに送信する。

サポータ
おすすめ
ポイント

- ・ 刑事裁判までの流れで、それぞれの役割や被疑者・被告人の権利の理解を深めます。
- ・ 被疑者・被告人の権利を思考錯誤して考え、人権が守られることの大切さについてより深く
理解します。

カード①（入力例）

カード① 刑事裁判までの流れ				
事件の発生				
誰が	被疑者	捜査 警察官 検察官	起訴 検察官	裁判 裁判官 裁判員
何を するのか		捜査で集めた証拠をもとに、被疑者を逮捕し、捜査官が捜査する。検察官が捜査官の報告をもとに、起訴の決定をする。	捜査で集めた証拠をもとに、被疑者を逮捕し、検察官が起訴の決定をする。	裁判官や裁判員は、検察官の起訴をもとに、被告人の罪を判断し、判決を下す。
被疑者・ 被告人の 権利		裁判官は、被疑者や被告人の権利を守る。検察官は、被疑者や被告人の権利を守る。検察官は、被疑者や被告人の権利を守る。		検察官は、被疑者や被告人の権利を守る。検察官は、被疑者や被告人の権利を守る。検察官は、被疑者や被告人の権利を守る。

カード②（入力例）

カード② 裁判の種類とそれぞれの役割			
裁判の種類	裁判官	検察官	弁護士
対象となる 裁判の種類	刑事裁判 民事裁判	刑事裁判 民事裁判	刑事裁判 民事裁判
裁判での 役割	刑事裁判、民事裁判で 法律に基づいて、判決 を下す	証拠に基づいて、被告 人が有罪であることを 証明して適切な刑罰を 求める	刑事裁判の被告人、民 事裁判の原告や被告の 利益や人権を守るため に主張や証明をする

カード③（入力例）

カード③	
1. 被疑者・被告人が保護される権利のなかで、一番大事だと思う権利	今秋がなければ逮捕や捜査されない
2. 一番大事だと思う理由	警察に疑われただけで、逮捕や捜査されるのは人権が守られていないと思うから
3. 今後、事件や裁判のニュースを見るときに、どんな点に注目して見てみたいか	犯人が捕まったとしても、本当に証拠があるのか、裁判になって刑罰を受けることになるのかどうかまで考えてみたい

共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む

pb01KZ8741VC7PQHPQWY78D02XH

1. 刑事裁判までの流れと権利(カード①)

誰が

被疑者

警察官

検察官

裁判官

裁判員

カード①

刑事裁判までの流れ

	事件の発生	捜査	起訴	裁判
誰か				
何を するのか		罪を犯したと疑われる被疑者を捜し、取り調べや証拠集めをする 被疑者を逮捕したり、勾留したりする	捜査で集めた証拠をもとに、被疑者が罪を犯したことが間違いなく、刑罰を科すべきだと判断した場合は、被疑者を被告人として裁判所に訴える	裁判官や裁判員は、被告人が有罪か無罪かを決め、有罪の場合にはどのような刑罰にするかを決める
被疑者・被告人の権利				

被疑者・被告人の権利

○○○

○○○

○○○

被疑者・被告人の権利

被疑者・被告人の権利

オレンジのパーツに考えられる被疑者・被告人の権利を入力

2. 裁判の種類と、裁判に関わる人の役割(カード②)

カード②

裁判の種類とそれぞれの役割

	裁判官	検察官	弁護士
対象となる裁判の種類	刑事裁判 民事裁判	刑事裁判 民事裁判	刑事裁判 民事裁判
裁判での役割	刑事裁判、民事裁判で法律に基づいて、判決を下す	証拠に基づいて、被告人が有罪であることを証明して適切な刑罰を求める	刑事裁判の被告人、民事裁判の原告や被告の利益や人権を守るために主張や証明をする

該当する裁判に○を置く

それぞれの裁判での役割を入力する

3. 一番大事だと思う権利を考える(カード③)

カード①

刑事裁判までの流れ

	事件の発生	捜査	起訴	裁判
誰が	被疑者	警察官 検察官	検察官	裁判官 裁判員
何を するのか		罪を犯したと疑われる被疑者を捜し、取り調べや証拠集めをする 被疑者を逮捕したり、勾留したりする	捜査で集めた証拠をもとに、被疑者が罪を犯したことが間違いなく、刑罰を科すべきだと判断した場合は、被疑者を被告人として裁判所に訴える	裁判官や裁判員は、被告人が有罪か無罪かを決め、有罪の場合にはどのような刑罰にするかを決める
被疑者・被告人の権利		裁判官の出す令状がなければ、原則として逮捕や捜索はされない 取り調べでの拷問は禁止されている 弁護士をたのむ権利がある		答えたくない質問に答えを拒否する。裁判で黙っている権利(黙秘権)がある 公平で速やかな、公開された裁判を受ける権利がある

当てはまる人を配置する

1. 被疑者・被告人が保護される権利のなかで、一番大事だと思う権利

令状がなければ逮捕や捜索されない

カード①で入力した被疑者・被告人の権利から1つ権利を選ぶ

2. 一番大事だと思う理由

警察に疑われただけで、逮捕や捜索されるのは人権が守られていないと思うから

理由を入力する

3. 今後、事件や裁判のニュースを見るときに、どんな点に注目して見てみたいか

犯人が捕まったとしても、本当に証拠があるのか、裁判になって刑罰を受けることになるのかどうかまで考えて見てみたい

注目して見てみたいことを入力する

入力したオレンジのパーツを「捜査」「起訴」「裁判」のいずれかに置く
パーツを動かすだけなので試行錯誤して考えやすい